

鈴鹿市立天栄中学校 第1回学校運営協議会 報告書

- 1 日時 令和5年5月12日（金） 16:00～18:00
- 2 場所 天栄中学校美術室

- 3 部活動の休日の地域移行について（鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課より）
議事に先立ち、鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課より部活動の休日の地域移行について、鈴鹿市の現状について説明がなされた。その後、質疑応答がなされた。

（質疑応答の概要）

- ・鈴鹿市としての方向性の明確化と共有
- ・財政上の課題、人材確保（責任の所在、指導資格 等）、安全面・トラブル対応等
- ・生徒、保護者、教職員への配慮
- ・積極的な情報発信の必要性

4 議事

- (1) 委員長・副委員長の承認、委員の任命

学校長より、各委員および地域コーディネーターに任命状が手交された。

続いて、委員長に 城ノ口 典子 氏、副委員長に 宮崎 一美 氏が推挙され、承認された。

- (2) 開会挨拶（委員長）

本年度より新しく委員長となった。何か役に立つことができればと考えている。

- (3) 委員・学校代表自己紹介

各委員および学校代表より自己紹介がなされた。

- (4) 生徒数・教職員数等報告

教頭より、令和5年度の学校体制について報告がなされた。その後、質疑応答がなされた。

（質疑応答概要）

- ・学級増、教職員増に伴う駐車場不足および職員室座席不足と、解消の必要性

- (5) 学校運営協議会開催日程

教頭より、令和5年度の学校運営協議会開催日程および趣旨について報告がなされた。

- (6) 学校経営方針等審議

学校長より、学校経営方針について説明がなされた。その後質疑応答がなされた。

①めざす学校像

- * 「地域に開かれ」の部分では、地域の方々の力を借りて学校教育を推進したいと考えた。

②めざす生徒像

- * 「認め合い、支え合い、高め合う」生徒の育成を一番に設定した。

- ・ 授業づくりを学校経営の中心に置き、「学び」のある学校づくりを進めていく。

- ・仲間から学ぶこと 学校ならではの取組を進めていく
- *「主体的に学習に取り組む」の部分で、卒業後も学びに向かってほしいと考えた。
- *「正しい判断力・規範意識」の部分では、多様な他者から学び自分自身で判断する力を身に付けてほしいと考えた。
- *「夢の実現」の部分では、自分らしく生きるためにどう行動するかを、学び合いの中で得た力を生かして考えていってほしいと考えた。

③目指す教職員像（子どもを支えるために）

- *「信用・信頼される教員」の部分では、コンプライアンス遵守と自己研鑽を大切にしたい。教職員で高め合う「同僚性」を高めていきたい。

④学校経営方針

- *人権感覚…教育活動全体を通して培う
- *学力保障…誰一人取り残さない授業を積み重ねる。その上での学力向上につなげる。
 - ・躓いている子、困っている子の困り感に寄り添う。
 - ・グループを活用し、安心感のある学びの場を創る。
 - ・「協働課題」を中心として取り組む。“一斉型授業”から学び合いに授業を変える。その中でICTを活用していく。
- *校区学校・地域との連携…「学びの部会」「育ちの部会」を中心に連携していく。
- *コミュニティ・スクール…学校関係者評価を通して、学校だけでは気付かない貴重なご意見を得た。
- *安全・安心・危機管理…「自分の命は自分で守る」ことを主体的に考えられるよう取り組む。
- *組織的な体制強化・総勤務時間の縮減…子どもたちと向き合う時間の確保のために進めていく。一方、現状としては令和3年度と比べて令和4年度で過重労働が増えている。さらなる見直しを図りたい。

（質疑応答の概要）

- ・令和4年度に過重労働が増加している原因
- ・教師が子供と向き合うために、地域にできること 地域が教育活動入れる範囲
- ・支援の具体策
- ・学校からのニーズ 小学校との違い
- ・地域と学校の連携・協働の仕組みの周知
- ・学校現場の育休取得の現状
- ・学校経営方針等学校の取組の保護者・教職員への浸透度
- ・授業でのグループ活動を進める上での配慮
- ・学校の課題に対する、学校運営協議会等地域の関わりの必要性

質疑応答を踏まえ、研修主任より、天栄中の核となる取組「協働課題」と、両輪となる「つながり」を育む取組の推進について説明がなされた。その後、質疑応答がなされた。

（質疑応答の概要）

- ・語彙力を増やす重要性
- ・学び合う機会の必要性 表現が苦手な子どもを周りが支える関係の必要性

- ・教師が弱い子をフォローする大切さ そのための教職員の研修の必要性
グループで学び合う時の配慮
- ・困り感の伝え方の工夫

(7) 令和5年度土曜の教育活動

教頭より令和5年度の土曜の教育活動について説明がなされた。併せて、廃品回収概要の説明および協力依頼がなされた。

(8) その他

* 稲生地区での道路新規開通区間について

* 研修主任より、地域の方々の学校への関わりの案が提案され、方向性が承認された。

- ・授業の中で、学校運営協議会をはじめ地域の方等に関わっていただく（生徒作品発表時の審査員 等）。